

月映

つくはえ

TSUKUHAÉ



田中恭吉
TANAKA KYOICHI

藤森静雄
FUJIMORI SHIZUO



一九一四年から一九一五年にかけて、二十代前半の美術学生、田中恭吉、藤森静雄、恩地孝四郎らがそれぞれ刻んで作った木版画や詩をまとめた雑誌『月映』。苦難のなかで生み出されたものの、恭吉の死期と呼応するかのように短い活動を終え、その珠玉の作品集は日本の版画史に大きな足跡を残した。



ONCHI KOSHIRO
恩地孝四郎

2015年
9月19日(土) - 11月3日(火祝)

会期中一部展示替えを行いません。(リピーター割引あり。詳しくは裏面に)
開館時間: 10:00-18:00(金曜日は20:00まで開館/入館は閉館の30分前まで)
休館日: 月曜日(ただし9/21、10/12、11/2は開館)、10/13[火]



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

〒100-0005 千代田区丸の内1-9-1 Tel.03-3212-2485 <http://www.ejrcf.or.jp/gallery>
交通: JR東京駅 丸の内北口 改札前(東京駅丸の内駅舎内)

主催: 東京ステーションギャラリー(公益財団法人東日本鉄道文化財団)
特別協力: 和歌山県立近代美術館

入館料: 一般900円/高校・大学生700円/中学生以下無料
*20名以上の団体は100円引き *障がい者手帳等持参の方は100円引き、その介添者1名は無料

上: 田中恭吉《冬の夕》1914年 水と緑と詩のまち前橋文学館 *萩原南太郎旧蔵。『月に吠える』挿画の原画。
中央: 藤森静雄《亡びゆく肉》1915年 愛知県美術館
下: 恩地孝四郎《望と怖》1914年頃 個人蔵

月 つくはえ 映

田中恭吉
TANAKA KYOKICHI
藤森静雄
FUJIMORI SHIZUO
恩地孝四郎
ONCHI KOSHIRO

東京駅が開業した一九一四年、三人の友情による画期的な雑誌が生まれました。

珠玉の作品集『月映』は、二十代前半の美術学生、田中恭吉、藤森静雄、恩地孝四郎らによる木版画や詩をまとめた雑誌です。田中恭吉の死を迎えた頃、一年ほどで終刊となりましたが、日本の版画史に足跡を残しました。

大正初期、文芸誌『白樺』などでさまざまな西洋美術が紹介されました。三人の学生たちはムンクやカンディンスキーらに刺激を受けつつ、独自の画境を切り開いた竹久夢二や周辺の人々からも影響を受け、自らの表現を模索します。そんななか、自分たちの雑誌が、夢二と懇意の出版社から発刊されることが決まります。当時の画家たちにとって、木版画による表現手段は主流ではありませんでしたが、三人はそれを跳ね返すように、自画・自刻・機械刷りによる木版詩画集づくりに熱中しました。田中恭吉は結核を患い、命を削りながら、内面の葛藤を表出するような物悲しい木版画と詩を生み出し、藤森静雄は木版画の特徴を生かした内省的な作品を残しました。そして、恩地孝四郎は『月映』創刊号の編集を一人でこなし、また、日本で最初期の抽象表現に到達しました。

本展は、公刊『月映』（洛陽堂）の紹介に中心をおきながら、三人の出会い、公刊『月映』の準備期間に制作した限定の私家版『月映』、田中恭吉の死後発刊された萩原朔太郎の初めての詩集『月に吹える』（田中恭吉ペン画十一點と恩地の木版画三點を収録）に関連する作品や資料など、約三〇〇点を展示します。



公刊『月映』VII 1915年11月発行
和歌山県立近代美術館



田中恭吉『月映のマーク』1915年2月頃
和歌山県立近代美術館

展覧会構成

- I つくはえ前夜
三人の出会い、回覧雑誌「ホクト」、回覧雑誌「密室」
- II 『月映』誕生
木版画にかける夢
- III 『月映』出版
死によりて挙げらるる生
- IV 『月映』のゆくえ
青春の記念碑

*会期中一部展示替えあり

リピーター割引: 本展会期中、本展入館券の半券を受け付にご呈示いただけますと、入館料が500円になります。
半券1枚につきお一人様1回限り有効。リピーター割引をご利用の際は裏面に確認の印を押させていただきます。他の割引との併用はできません。

【イベント】

◎ギャラリートーク

学芸員による展覧会解説
日時: 10月2日[金]、10月23日[金] 15:00~(約30分)
3階展示室集合 参加無料(要別途入館料)
*混雑時には中止することがあります

◎レンガタッチ&トーク

煉瓦が特徴的な当館のたても解説
日時: 10月9日[金]、10月30日[金] 18:00~(約20分)
1階エントランス集合 参加無料(要別途入館料)、
各回15名
*当日1階受付でお申込みください

【今後の予定】

「オープン・ウィーク 駅的美術館で楽しむ10日間」
11月14日-23日

「パリ・リトグラフ工房 idemから(仮称)展」
12月5日-2016年2月7日



交通: JR 東京駅 丸の内北口 改札前(東京駅丸の内赤煉瓦駅舎内)

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1
Tel. 03-3212-2485 <http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

TSUKUHAÉ



*『月に吹える』挿画の原画



- 1—田中恭吉《死人とあとに残れるもの》1914年 和歌山県立近代美術館
- 2—田中恭吉《失題》1914年頃 個人蔵
- 3—田中恭吉《冬虫夏草》1914年 愛知県美術館
- 4—藤森静雄《亡びゆく肉》1915年 愛知県美術館
- 5—藤森静雄《失題》1914年頃 和歌山県立近代美術館
- 6—藤森静雄《夜》1914年 愛知県美術館
- 7—恩地孝四郎《つきにひくかげ》1914年 愛知県美術館
- 8—恩地孝四郎《抒情 踊る》1915年 愛知県美術館
- 9—恩地孝四郎《失題》1914年頃 和歌山県立近代美術館